

### 長年の活動功績が顕彰され 滋賀県文化賞に 小林 博さん



文化活動で優れた功績のあった人に贈られる「滋賀県文化賞」を、安曇川町在住の漆芸作家 小林 博さんが受賞されました。

小林さんは、既成概念にとられない独自の技術と感性により、前衛的な創作活動を展開されている滋賀県を代表する漆芸作家で、日本現代工芸展等の審査員を務める傍ら、後進の指導や育成に尽力され、地域文化の発展に大きく貢献されています。

(社会教育課)

### 安曇川中学校 滋賀県駅伝大会 優勝!!

11月14日(木) 希望が丘文化公園で第64回滋賀県中学校駅伝競走大会が行われ、安曇川中学校が女子の部で初めて優勝されました。この結果を受けて、12月14日(土)・15日(日)に山口県で行われる第21回全国中学校駅伝大会への出場が決まりました。(市民スポーツ課) ※敬称略

- 1区 三宅 満星 (2年) 10分48秒② ※丸数字は区間順位
- 2区 中原 あかり (2年) 7分31秒⑩
- 3区 堤中 菜穂 (3年) 7分30秒④
- 4区 齊藤 彩佳 (3年) 7分13秒②
- 5区 澤村 真央 (3年) 10分22秒①



### 地域農業の担い手「椋川農産」 が全国優良経営体表彰



10月30日(水)、石川県金沢市の石川県地場産業振興センターで平成25年度全国優良経営体表彰の表彰式が行われ、有限会社 椋川農産(今津町)に全国担い手育成総合支援協議会長賞が授与されました。

この表彰は、地域農業の振興・活性化に特に顕著な

功績が認められた団体等に授与されるものです。

椋川農産は、地域農業の中心経営体としての役割を担い、地域の農家から農作業を請け負うなど互いに協力しながら、地域農業の維持発展に努めています。また、滋賀県立大学と連携した地域の知恵・技術の伝承活動や、地域の資源を利用した都市との交流事業も実施されています。(農業振興課)

### 交通事故ゼロを目指し、 交通安全市民大会開催



10月27日(日)にガリバーホールで平成25年度高島交通安全市民大会が開催されました。



第1部では、交通安全功労者、優良運転者、交通安全子どもの“え”作品展入賞作品、無事故無違反運動の優良事業所の表彰を行い、個人・団体の功労や優秀作品の栄誉をたたえました。第2部では、東近江市交通指導員 茶野 博子さんによる交通安全教室、陸上自衛隊今津駐屯地第10戦車大隊による「十戦太鼓」の演奏をしていただき、交通事故のない安全な高島市を願いました。

交通事故は、誰しもに起こりうる身近な問題です。悲惨な事故にあわない、あわせないためにも、家庭や職場などで交通安全について話し合ってみましょう。(交通対策課)

### 十八川区が、台風18号の 避難行動報告書を作成

安曇川町十八川区では、台風18号によって区民がとった避難行動を調査したものをまとめた「台風18号による避難行動特別調査報告書」を作成されました。

十八川区は、台風18号による安曇川の増水で全戸避難をされたことから、区民がどのように行動したかを検証することが、次に生かす重要な資料になると考え、今回、全戸を対象に調査を実施。報告書からは、区民の危機意識の醸成や水防倉庫の設置など、安全・安心を確保するための多くの課題がみえてきました。この報告書を基に、検討を加え、区の避難行動マニュアルの策定に生かすとのことです。(企画広報課)



### 平田さん、日本拳法大会 で優勝!!

10月6日(日)に吹田市で行われた第39回日本拳法龍峰杯優勝大会で平田展康さん(今津町在住)が壮年II部において見事、優勝されました。(市民スポーツ課)



### 台風18号の復旧経過

気がつけば師走を迎える頃になり、この一年間は私にとりまして本当に激動の一年でした。とりわけ数十年に一度の降雨量と言われた台風18号による災害対応は、忘れることはできません。

被害状況や、復旧経過については、先月配布させていたいただきました「災害特集号」でもお伝えしましたが、その後の復旧状況などについて、この機会に一部お知らせします。

この台風で堤防が決壊した鴨川については、9月中旬に仮復旧が完了しておりますが、河川管理者である県に対し、単に崩壊した箇所を復旧工事ではなく、一層の安全対策を要望し、4〜5年をかけて恒久的な改良工事を行うとの回答を得たところです。

また、安曇川堤防の欠損部分はもちろん、石田川や百瀬川のほか55河川の堤防強化対策につきましても要望しています。

さらに、この台風による農業被害が国の「激甚災害」指定を受けたことから、農林水産省による災害査定が11月11日から、被災箇所ごとに行われています。この結果により、農地や農業施設の復旧につきましても、国の財政支援を受けながら、年明けに順次復旧が進む予定です。

市としましては、来年の作付けまでに全ての農地が復旧されるよう取り組んでいます。被災面積や箇所が膨大であることから、大変厳しいと言わざるを得ない状況です。

農業関係者の皆様には、大変なご苦労をおかけすることと存じますが、なにとぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

福井 正明

### 市長雑記

